

出席者	住民	30人	市 大城市長・藤堂総務企画部長 政策推進課 程野補佐・森田主査
担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
建設課	※事前質疑 八幡浜市老朽危険空家除却事業について	真網代地区は急傾斜地に多く住居が立ち並んでいる。また、その隣には蔵や納屋といった建物が多く見受けられる。真網代地区の中の方には大きな道路がないため、重機やダンプが入らない。そのため家の解体を依頼すると、すべて手作業のため、高額な見積りになる。住居(空き家)は補助対象であるが、蔵や納屋は補助の対象にならないと聞いた。使用していない蔵や納屋も空き家同様に補助対象にしていただけないか。	「八幡浜市老朽危険空家除去事業」は、周囲に対して被害を及ぼす危険性の高い空き家の解体工事に当たり、その費用の一部に対し補助金を交付している。 建築物の解体については本来所有者の責任のもとに行われるべきものであるが、補助金を交付している背景として、人口減少等により、全国的に空き家が増加していることが挙げられる。本市においても空き家は年々増加しており、近隣への被害や景観の悪化等をもたらしているため、それを防ぐために空き家の解体については補助金を交付し、支援している。 ご要望については、問題となっている空き家の増加を防ぐために国・県と協調して補助金を交付しているという趣旨があるため、空き家のみを対象としていることについてご理解をお願いしたい。
農林課	※事前質疑 真網代マツノモト水路整備工事について	農道マツノモト線下の水路は園地との境があまりなく大雨になると隣接している園地を削って水が流れている。その水路に隣接している大下克夫氏の園地では、大雨の度に石垣が激流によって流されるので、大雨の予報が出ると園地脇を畑が流されないように毎回ブルーシートで覆っている。大雨でも安心できるように水路の整備工事の検討をお願いしたい。	今回(R7.8.20)、農林課と地元関係者(地権者・真網代区長・真穴土地改良区理事長)の方々の、現地を確認し協議をした結果、今年度の収穫期後(1月中旬以降)に施工対応する。
農林課	倉庫の補助について	産地を維持するには、新規農業者の就労が不可欠である。新規農業者は園地は貸してもらえませんが、倉庫は貸してもらえないことが多く、倉庫が不足している。倉庫整備の補助があれば教えてほしい。また、今後実施する可能性があれば教えてほしい。	新規農業者の倉庫建設・確保が非常に難しいことは、課題として十分認識している。どの産地も同じ問題で困っている。用地の確保が可能であれば、地区やJAIにしよう、西宇和みかん支援隊等と連携し、市としての支援方法を検討したい。
総務課	デジタルトランシーバーの配備について	災害訓練の際、避難所3か所のリーダーは各自の携帯電話や防除組合のトランシーバーを借りて、情報を共有した。アナログのトランシーバーは電波が届きづらく、情報を正確に共有するため、避難所に自主防災組織用のデジタルトランシーバーを配備してほしい。	各自主防災会には既にIP無線機を配備しており、デジタルトランシーバーを新たに配備することは困難であるが、危機管理室で協議したい。 また、自主防災会が研修活動等を独自に実施した場合に5万円の補助制度があるので、活用していただきたい。
生活環境課	プラごみの出し方について	一部の住民がプラスチックごみを半透明の袋で出すことがあり、困っている。半透明の袋ではプラスチックごみが収集されないため、地区で購入した無色透明のゴミ袋に入れ替えて対応している。ある販売店では、ゴミ袋のほとんどが半透明で、透明なゴミ袋はほとんど置かれていなかった。良い解決方法を教えてほしい。	プラスチックごみを無色透明のゴミ袋で出すことは、ルールである。規範意識をもって守っていただきたい。今後、広報や八西CATV等を通じて改めて周知する。 透明なゴミ袋の販売状況は、今後調査したい。 【補足】 調査の結果、真網代と穴井の市指定ゴミ袋販売店などで、無色透明のゴミ袋を販売しているのでお買い求めいただきたい。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
子育て支援課・総務課	農繁期の子ども教室について	<p>令和6年度の子ども教室は、11月1日から12月24日まで実施し、真穴小学校の児童39人、延べ901人が利用した。子どもたちが安全に楽しく過ごし、保護者も安心して仕事ができ感謝している。先日、子育て支援課の職員や地域おこし協力隊も来訪し、子どもたちの居場所づくりを支援してくださり、とても心強く感じた。</p> <p>旧真穴中学校を利用しているが、Wi-Fi環境がないため、タブレットを使った学習ができない。2か月間だけでも利用できるように、整備できないか。</p> <p>また、体育館が避難場所となっているが、携帯電話の電波状況が悪いため、改善できないか。</p>	<p>Wi-Fiについては、ポータブルWi-Fiルーター等の活用を含めて検討する。</p> <p>携帯電話の電波は通信事業者の所管であるが、災害時の避難場所であることから、市としても改善要望を伝える。</p> <p>【補足：子育て支援課】 タブレット学習については、教育委員会で一定のルール(使用可能な時間や場所)が定められているほか、学校によって運用(タブレットの持ち帰り可否や宿題の有無など)が異なるため、まずは要望の内容を学校と共有したい。</p> <p>その上で、学校と地域(子ども教室)の意向に沿った対応について検討する。</p> <p>【補足：総務課】 大規模災害時における通信手段の多様化は必要と考える。そのため、衛星携帯電話の配備を行った。</p> <p>Wi-Fi環境についても、避難者の情報収集の観点から重要なものと考えられることから、どのような形で設置することができるのかを、関係各課と協議し、検討したい。</p>
市立病院	産婦人科について	<p>素晴らしい病院ができたが、産婦人科がなくなってかなりの年数が経過している。産婦人科に勤務経験のある看護師の確保も難しくなる。</p> <p>昨年からの引き続きの要望になるが、産婦人科の復活をお願いしたい。</p>	<p>市立病院の産婦人科を再開したいと考えている。現在、産婦人科の医師は常勤1名であり、再開には常勤医2名と派遣医1名が必要である。増員に向けて一生懸命努力しているが、現状ではなかなか難しい。</p> <p>また、医師だけでは産婦人科を再開できないため、助産師の育成にも取り組んでいる。</p> <p>常勤医2名と助産師2名が確保できた段階で、愛媛大学と相談のうえ、産婦人科の再開に向けて協議を進めたい。</p>
総務課	防犯カメラについて	<p>真穴地区は八幡浜の一番端にある。幸いにも大きな事件や事故は発生していない。</p> <p>昨年からの引き続きの要望になるが、防犯カメラの設置を希望する。</p>	<p>防犯カメラについては、庁内で検討している。</p> <p>また、自動車にドライブレコーダーを設置することは、犯罪の検挙にもつながる。地域の住民が地域を守るという観点からも、地区住民の皆様ドライブレコーダー設置の協力をお願いしたい。</p> <p>【補足】 防犯カメラ設置については、犯罪発生抑止に有効である一方、個人のプライバシーが侵害される恐れもあることから、設置に当たっては慎重な対応が求められている。</p> <p>市設置の防犯カメラは施設管理を目的として設置しており、市街地等の監視を目的として設置している事例はない。八幡浜地区防犯協会が維持管理しているものが市内の主要道路に設置されている。地域から要望があったことを関係機関(警察、防犯協会)にお伝えし、引き続き連携強化を図りたい。</p>
農林課	第9ブロックの配管について	<p>第9ブロックの排水槽から基地までの配管は道路下に埋設されている。配管が地すべり地帯にあるため、県に現地確認を依頼した。県から前向きな回答をいただいているが、大規模な工事となるため、市からの助成も検討していただきたい。</p>	<p>現状については今回初めて把握したため、土地改良区と協議のうえ、内容を精査し助成についても併せて検討したい。</p> <p>【補足】 本箇所については、県が令和7年度に土地改良施設突発事故復旧・防止事業の採択を申請した。事業採択の結果を待ち、令和8年度に事業計画を作成、令和9年度に工事着手・完了の予定である。事業費の補助割合(国・県・市・地元)は現在未定のため、採択決定後、地元負担等について地元と協議の上、決定していきたい。</p>

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
商工政策推進課	企業誘致について	平成28年に里帰りしたが、その当時に比べ人口が減少し、3万人を切っている。市が様々な人口減少対策を講じているが、仕事があれば人は集まる。みかん農家でない方が八幡浜市に住むことを考えるには、新たな産業が必要である。IT企業など地方でも仕事ができるサテライトオフィス等を誘致する施策を検討してはどうか。	旧愛宕中学校の校舎へ企業誘致を検討しており、まさしくIT企業の誘致を目指している。昨年の暮れには、大阪や東京からIT企業の職員が八幡浜に来て、みかん摘みをした。職員は気分転換ができ、好印象であった。IT企業の社内研修で八幡浜に来てみかん摘みを体験してもらうことで、職員のリフレッシュやメンタルの改善にもつながり、みかん農家の人手不足も解消できる。今後、この事業を周知していく予定であるため、IT企業からの問合せがあった際は、真穴地区でも受け入れにご協力をお願いしたい。
建設課	歩道について	川上町の白石と合田間の国道の歩道が、みかん園が崩れ、10年以上手つかずの状態である。みかん園の地主は八幡浜を離れているようで、難しいと思うのが解決を希望する。	みかん園の崩落による歩道への影響を調査し、関係機関と協力のうえ、早急に対応を検討する。 【補足】 管理者である八幡浜土木事務所に確認したところ、畑の地権者との交渉が終わり、令和8年度に畑内の畑かんの移設を行い、令和9年度に法面对策（張コンクリート、受圧板の設置等）を実施する予定との回答を得た。
生涯学習課	文化的遺産について	川之石にある琴平神社の拝殿の修復が始まる。拝殿に非常に大きな鬼瓦があり、市の宝である。鬼瓦を市外に移すような噂を聞いた。市で保管する施設がなければ、真穴地区での受け入れを検討したい。	琴平神社の鬼瓦移設については、今回初めて把握した。市として、文化的な遺産は残していくよう検討したい。 【補足】 神社宮司も、鬼瓦の文化的価値は承知しており、現在も境内で保管している。現時点では、市外へ移す予定はなく、拝殿修復後の活用について氏子代表とともに検討中とのことである。
生活環境課	ゴミ袋について	燃えるゴミのゴミ袋を家からゴミ収集所へ運ぶ際、破れることがあるため、強度を高めてほしい。	ゴミ袋を収集車が回収しピット（貯留槽）に投入する際は、袋が破れることで処理がしやすくなる側面があるため、ゴミ袋の強度は適切な範囲で設定している。ゴミ袋を運ぶ際は、注意して丁寧に取り扱っていただくようお願いする。
農林課	オレンジポストについて	真穴地区にオレンジポストを設置してほしい。真網代の郵便ポストは、アルバイトの集いの場であるバス停にあり、話題性も高いため、設置に適していると思う。	来年、真穴地区へのオレンジポスト設置を検討する。 【補足】 日本郵便とも協議を行い、前向きに検討を進めたい。
商工観光課	花火大会の助成について	お盆時期になると多くの方が帰省される。穴井地区ではいろいろなイベントをして交流を図り、帰省者が穴井に住みたいという気持ちが起こることを願って実施している。27年にわたり、区民の寄附で花火大会を開催している。大会への助成をお願いできないか。	穴井地区の花火大会のみに助成することは、市内全地区の公平性を考慮すると難しい。地区で寄附を集めて花火大会を実施されていることは、大変ありがたく、帰省者も楽しみにしていると思う。地域の方々が地域への思いを大切にしていることは理解している。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
保健センター 建設課	市民の健康促進について	市民の健康促進のため、諏訪崎の遊歩道を整備して、明るく楽しいウォーキングコースを整備してほしい。	【建設課】 県立自然公園内の遊歩道であるため、大規模な改修や新たな整備は自然環境への影響を考慮すると難しいが、定期的な点検など、現状維持のための管理により必要に応じて補修を行うことで、安全で快適な遊歩道を維持していきたい。 【保健センター】 本市では、市民の皆様楽しく安全に運動を続けていただくことを目的に、平成29年3月に、健幸ウォーキングマップ「はまウォーク」を作成した。マップでは、「道の駅みなと」を中心にした4つのウォーキングコースを紹介し、市民の健康の保持、増進のためにウォーキングを活用いただけるよう努めている。また、本年10月には、健康アプリ「Kencom」内でも、このウォーキングコースを紹介する予定であり、ぜひご活用いただきたい。
生涯学習課	高齢者の健康について	元気な高齢者をつくるため、スポセンにその人に合ったおすすが指導ができる筋トレ指導者を配置してほしい。	スポーツセンターでは、有資格者による運動教室を実施しているが、専門スタッフの確保は指定管理事業者の経済的負担に繋がるため早期の対応は難しい。 このような状況の中、市では幅広い世代の方に多様なスポーツ機会を提供するための「総合型地域スポーツクラブ」の設立を計画している。
生涯学習課	生涯学習教室について	生涯学習教室に国語、社会の授業的なものを取り入れてほしい(昼間)。	生涯学習教室ではないが、社会科という関連では、郷土の歴史と文化を学ぶ「歴史・文化探検」学習会を開催しており、毎年、5月の広報で会員を募集している。